

(様式3)

【学校用】

ふるさと教育 取組事例

| | | | |
|-----|-------------|---|--|
| 学校名 | 西ノ島町立西ノ島中学校 | | |
| 学年 | 主な教科等 | 主に関わる単元名 | 活用した教育資源 (ひと・もの・こと) |
| 3 | 総合的な学習 | 西ノ島町の未来を考えよう | 役場職員、国際交流員、観光協会、畜産農家、地元漁師、社会福祉協議会、地域おこし協力隊、小学校 |
| ねらい | | 西ノ島町の町づくりに関する各分野の課題や取組を知り、自分たちに何ができるのかを考え、解決するための行動を行う。 | |

1 取組の概要

中学校3年生が、総合的な学習の時間において、地域の課題を発見し、解決のための提案を考え、実践してみた。「漁業」「子育て・教育」「観光」「畜産」の4つのグループに分かれ、インタビュー活動やアンケート調査等により地域の実態を把握し、課題解決の方法を考えた。また、今の自分たちにできることを考え、実践したうえで更なる発見や改善策を見出した。

2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。

(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

- ・地域の活性化のために頑張っている大人と対話することで、探究学習を進めるためのつながりを持つとともに、ふるさとの魅力を再発見し、よさを発信しようとする態度を育てる。
- ・地域の大人からアドバイスや励ましの言葉をもらうことで、提案がより現実的になり、さらなる貢献意欲を引き出す。

(学力育成の視点から)

- ・様々な人との出会いから得た学びについて、対話を通して深めたり、多角的・多面的に考えたりすることで、よりよい解決策を導く力を育てる。
- ・聞き手を意識して、よりわかりやすく伝えられるよう表現する。
- ・実生活の問題と自分との関係性を見つけ、自分にできることを考えて実践する。

3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)

(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

- ・「ふるさとが好き」「ふるさとを自慢できる」「ふるさとのよさをもっと島外の人にとってほしい」というアンケートに、すべての生徒が肯定的回答をした。
- ・課題解決のために、または地域をよりよくしようとするために、以前にも増して自分にどんなことができるかを考えることができた。

(学力育成の視点から)

- ・インタビュー活動(対面・電話)を行うことで、コミュニケーション力がついた。
- ・意見の相違があっても、互いの意見のよさを理解し、尊重しながら折り合いをつけ提案に結びつけることができた。
- ・たくさんの情報から、必要な情報を選び分析し、課題解決に役立てる力がついた。
- ・自分たちの解決策を実践することで、効果を知ることができ、よりニーズに合った提案をすることができた。



4 課題や今後の展望

- ・町の社会教育主事との連携をより深めながら進めていきたい。

*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)

*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。
(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)